
多摩市歯科口腔保健に関する アンケート調査

— 報告書概要版 —

令和5年8月

多摩市

目次

I. 調査の概要	2
1 調査の目的	3
2 調査の対象者	3
3 調査方法	3
4 回収状況	4
5 報告書の見方	4
II. 調査の結果	6
(1) むし歯の有無	7
(2) かかりつけの歯科医の有無	7
(3) 口腔状態への不満など	8
(4) かかりつけ歯科医での予防処置や指導（高校生以下）	9
(5) かかりつけ歯科医での予防処置や指導（成人以上）	9
(6) かかりつけの歯科医がない理由	10
(7) 甘味食品の摂取状況	12
(8) 甘味飲料の摂取状況	13
(9) 歯みがきの状況	14
(10) 丁寧な歯みがきの状況	15
(11) フッ素入り歯みがき剤の使用状況	16
(12) デンタルフロスの使用状況	17
(13) 歯や歯ぐきの観察状況	18
(14) ゆっくりよくかむ習慣（5歳児）	18
(15) ゆっくりよくかむ習慣（学齢期）	19
(16) ゆっくりよくかむ習慣（成人以上）	20
(17) 喫煙と歯周病の関連性の認知	20
(18) 糖尿病と歯周病の関連性の認知	21
(19) 歯周病と各種疾患の関連性の認知	21
(20) 口腔の清潔と誤嚥性肺炎の関連性の認知	22
(21) 噛ミング30の認知	22
(22) 8020の認知（高校生以下）	23
(23) 8020運動の認知（成人以上）	23
(24) オーラルフレイルの認知	24
(25) 歯科医院での摂食・嚥下機能に関する相談の認知	24
(26) 訪問歯科の認知	25
(27) 多摩市の取組への要望など	25

I. 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、歯と口の健康を推進するための条例の策定に当たり、歯科口腔保健に関する現状を把握し、市や歯科医師等、保健医療関係者等の取組、施策、連携の在り方等を検討するための基礎資料とすることを目的として行いました。

2 調査の対象者

調査は以下の6種類で実施しました。

調査対象	抽出方法	標本数
①5歳児（保護者が回答）	市内10エリアの幼稚園及び認可保育所等の保護者	184人
②小学校4年生	市内全ての市立小学校第4学年	1,105人
③中学校1年生	市内全ての市立中学校第1学年	919人
④高校3年生	市内高校の第3学年から抽出	224人
⑤成人期（18～64歳）	無作為抽出	630人
⑥高齢期（65歳以上）	無作為抽出	560人

3 調査方法

（1）調査の方法

【①5歳児、②小学校4年生、③中学校1年生、④高校3年生】

幼稚園及び認可保育園、学校を通してのweb案内状配布、インターネットによる回収（無記名式）

【⑤成人期、⑥高齢期】

郵送による調査票配布、郵送またはインターネットによる回収（無記名式）

（2）調査期間

【①5歳児、②小学校4年生、③中学校1年生、④高校3年生】

令和5年5月15日（月）から令和5年6月5日（月）まで

【⑤成人期、⑥高齢期】

令和5年5月22日（月）から令和5年6月12日（月）まで

4 回収状況

調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
①5歳児（保護者が回答）	524	184	35.1%
②小学校4年生	1,128	1,105	98.0%
③中学校1年生	985	919	93.3%
④高校3年生	250	224	89.6%
⑤成人期（18～64歳）	1,710	630	36.8%
⑥高齢期（65歳以上）	890	560	62.9%
合計	5,487	3,622	66.0%

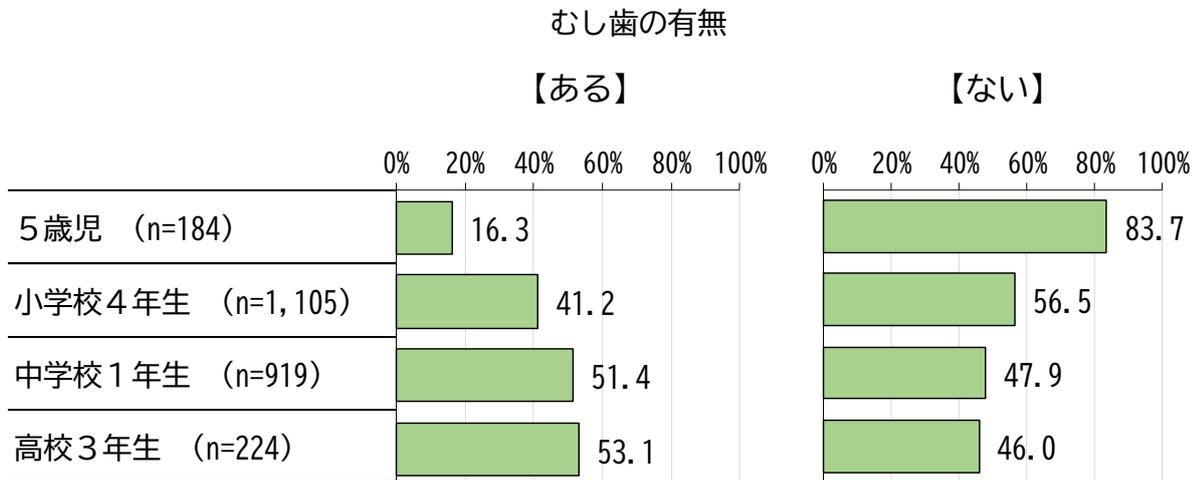
5 報告書の見方

- 図表中の「n」は、その設問の回答者数です。
- 比率は、少数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計が100%にならないことがあります。
- 回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えることがあります。
- 各設問に対する「無回答」の割合は省略しています。

II. 調査の結果

(1) あなたは、現在むし歯がありますか。または、今までむし歯の治療をしたことがありますか。(✓は1つ)

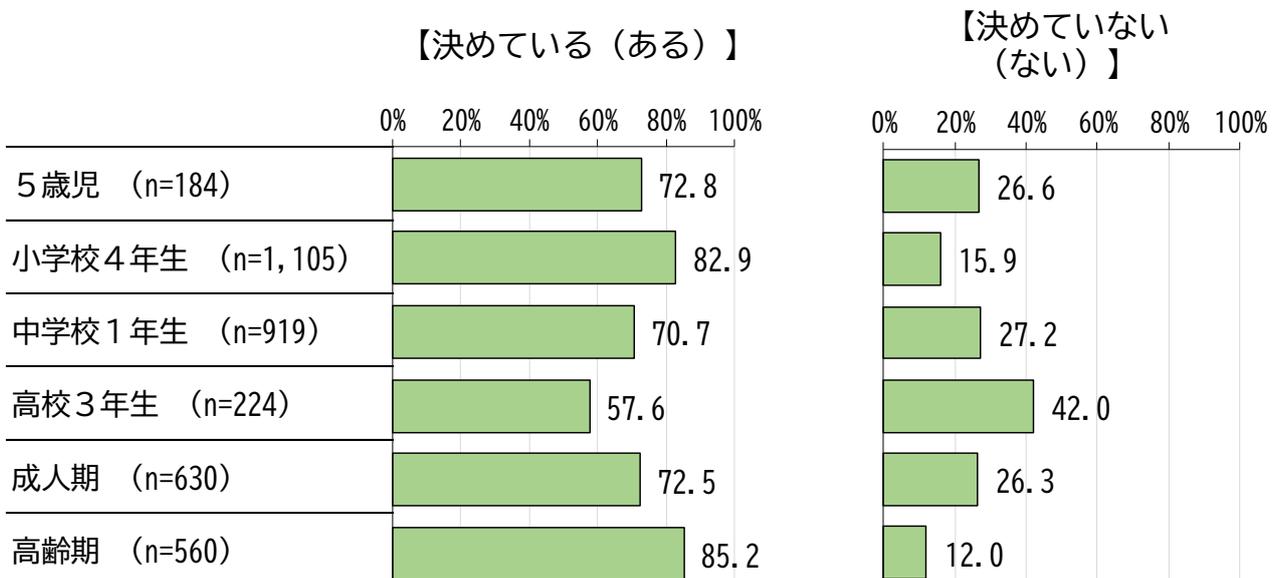
・むし歯が「ある」と回答した割合は、年齢が上がるごとに増加し、高校3年生で53.1%と最も高くなっています。



(2) あなたは、かかりつけの歯科医院を決めていますか。(✓は1つ)

・かかりつけ歯科医を「決めている(ある)」と回答した割合は、小学校4年生で82.9%まで増加したあと、高校3年生で57.6%まで減少し、成人期から再び増加、高齢期で85.2%と最も高くなっています。

かかりつけ歯科医を決めているか

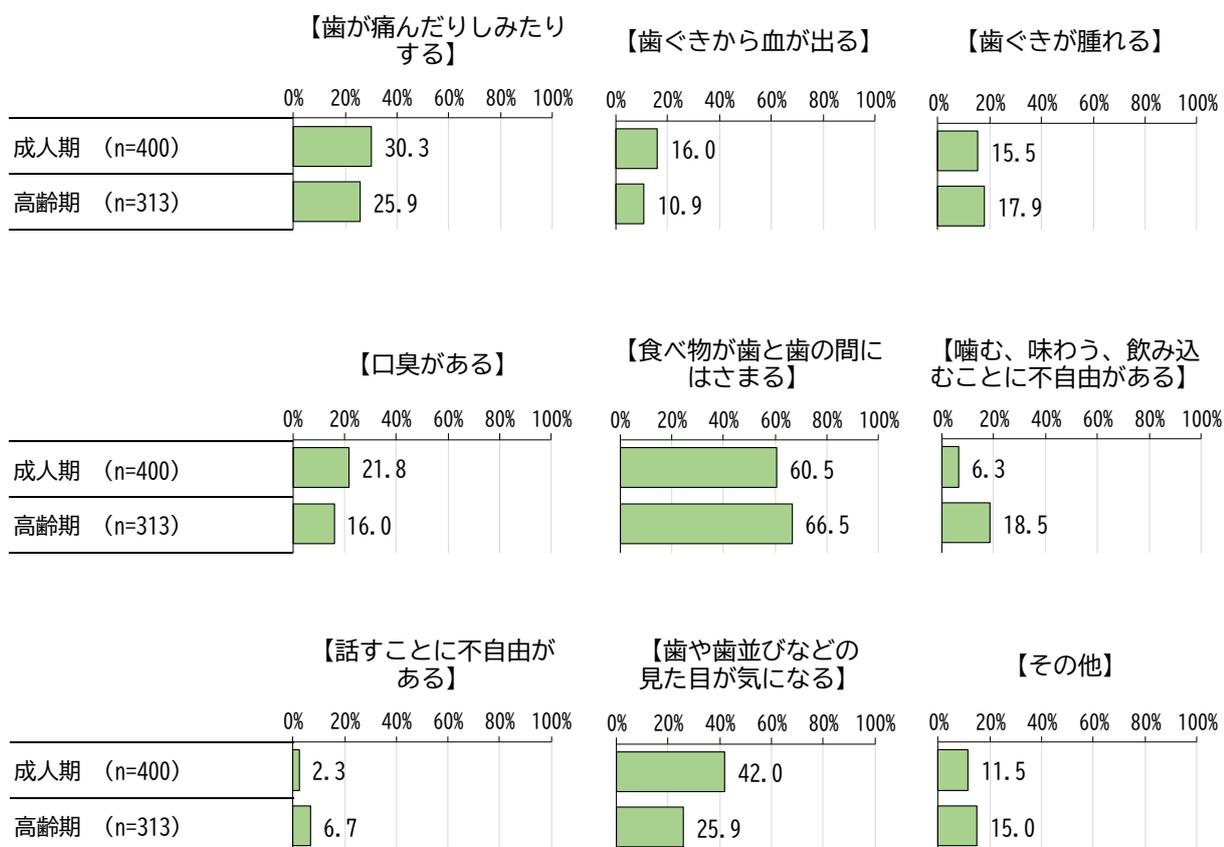


(3) どのようなことについて不満や苦痛を感じていますか。

(あてはまるものすべてに✓)

・主な不満や苦痛の回答割合は、成人期、高齢期ともに「食べ物が歯と歯の間にはさまる」が最も高くなっています。次いで高い回答は、成人期では「歯や歯並びなどの見た目が気になる」が、高齢期では「歯が痛んだりしみたりする」と「歯や歯並びなどの見た目が気になる」がそれぞれ高くなっています。

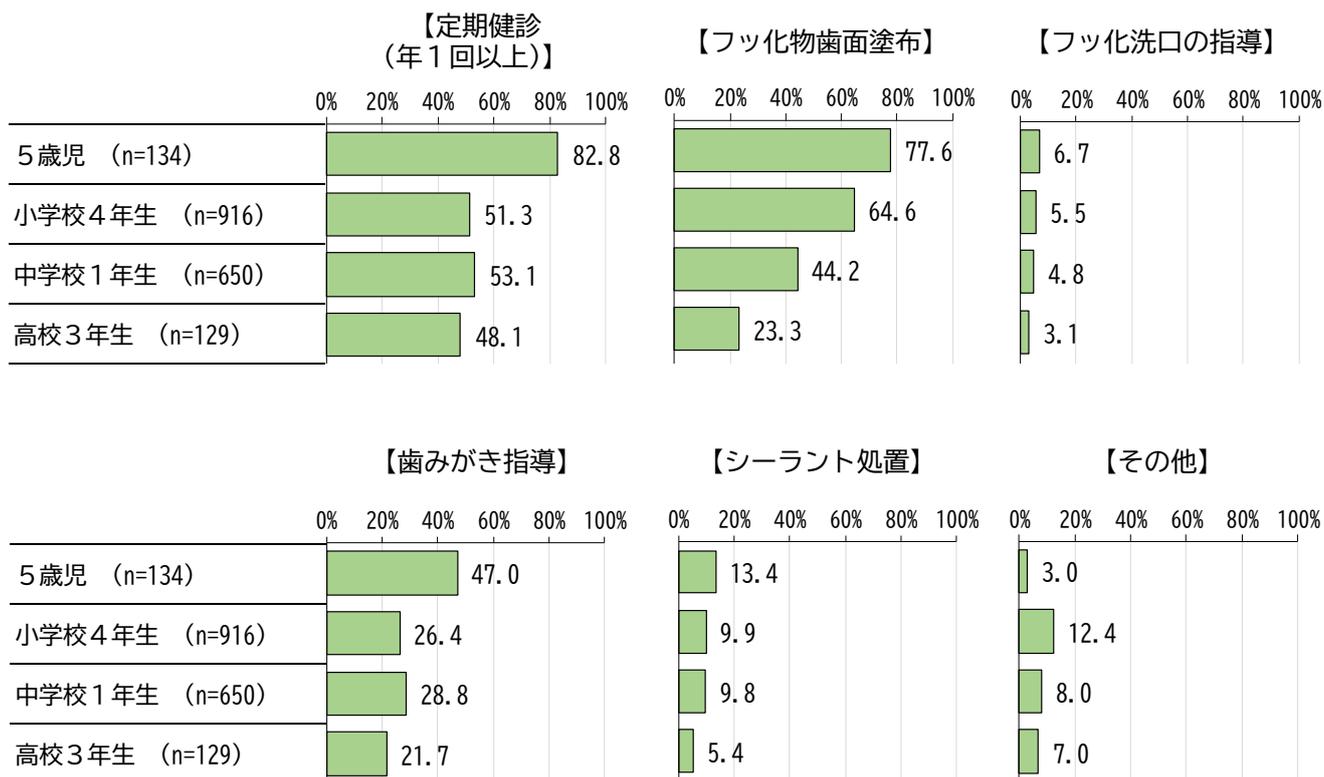
主な不満や苦痛



(4) かかりつけ歯科医院では、むし歯などの治療を受けているほかに、次のような予防処置や指導を受けていますか。(あてはまるものすべてに✓)

・予防処置の内容の回答割合は、5歳児と中学校1年生、高校3年生で「定期健診（年1回以上）」が、小学校4年生で「フッ化物歯面塗布」がそれぞれ最も高くなっています。

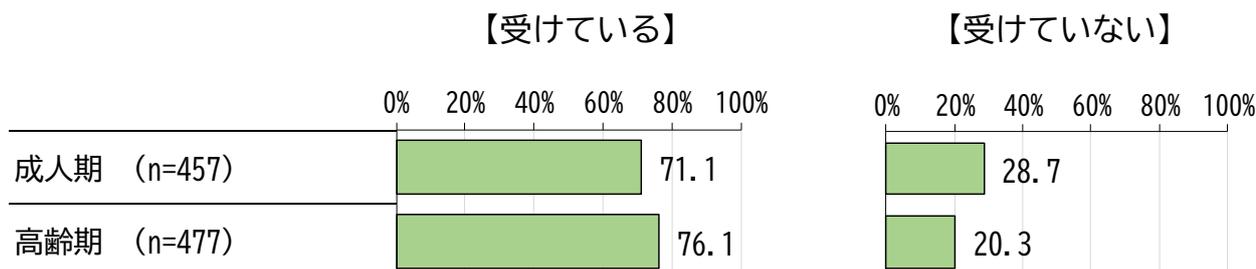
予防処置の内容



(5) その歯科医院では、むし歯・歯周病の治療や入れ歯の作製・修理などのほかに予防処置等を受けていますか。(✓は1つ)

・予防処置を受けているかの回答割合は、高齢期で76.1%と最も高くなっています。

予防処置を受けているか

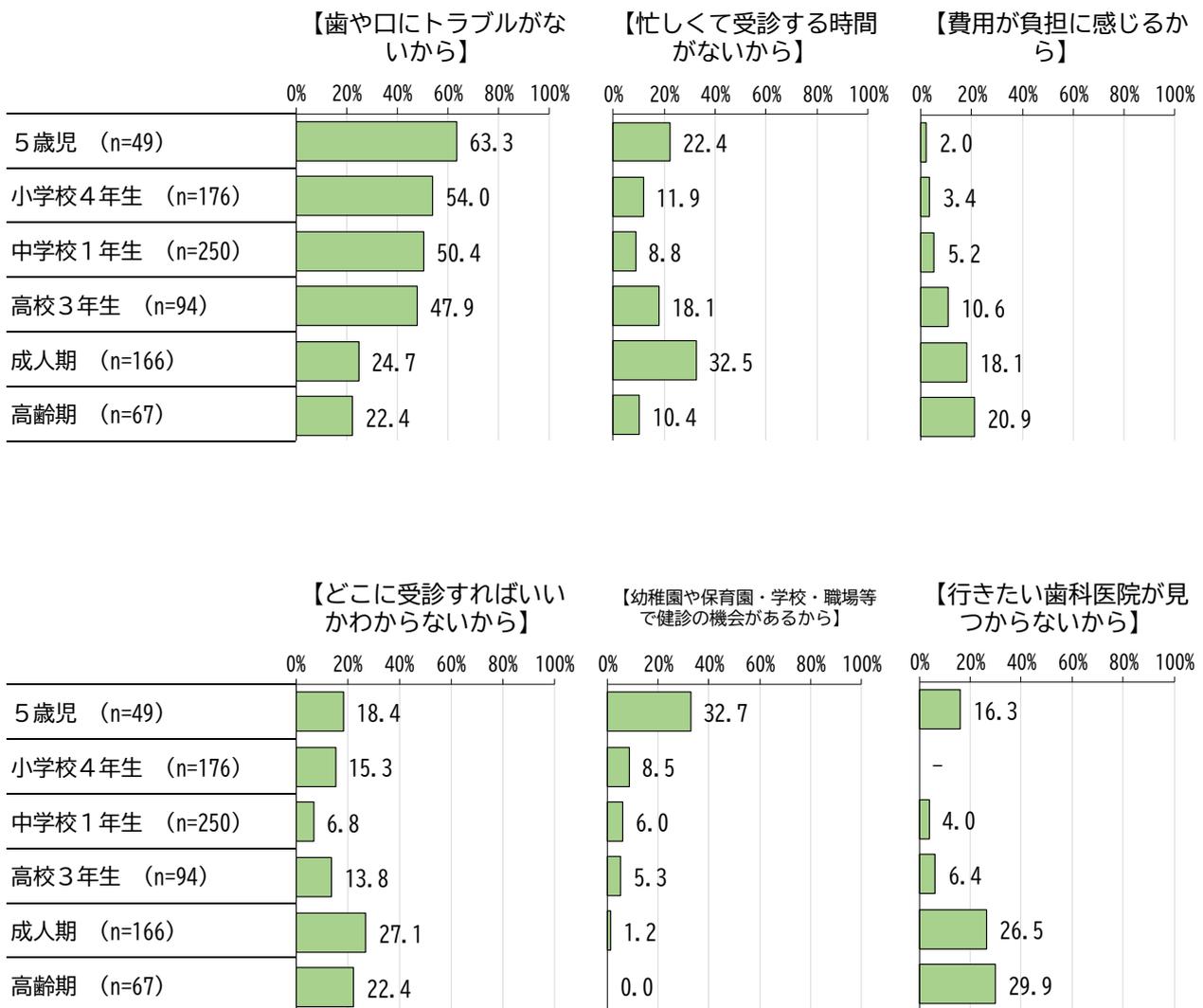


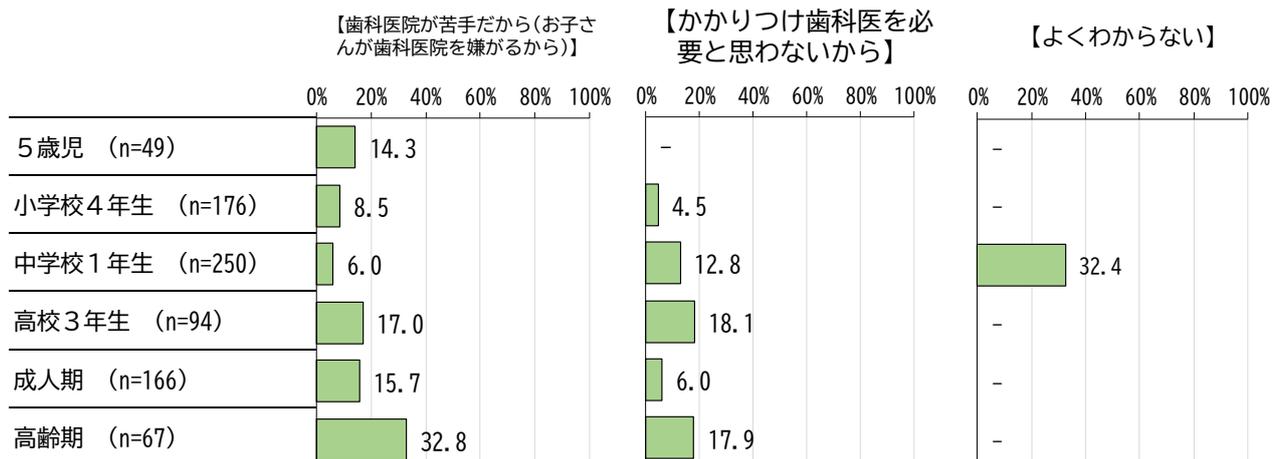
(6) かかりつけの歯科医院を決めていないのはなぜですか。

(あてはまるものすべてに✓)

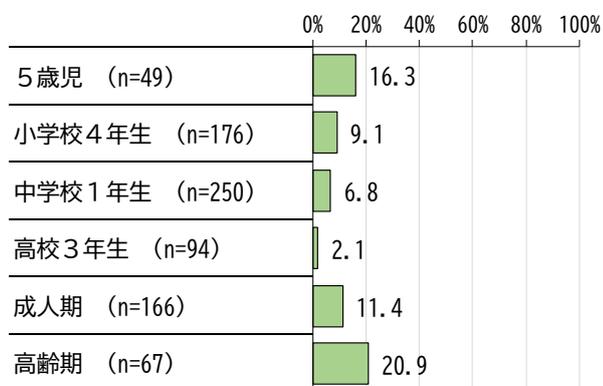
・かかりつけ歯科医を決めていない理由の回答割合は、5歳児と小学校4年生、中学校1年生、高校3年生で「歯や口にトラブルがないから」が、成人期で「忙しくて受診する時間がないから」が、高齢期で「歯科医院が苦手だから」がそれぞれ最も高くなっています。

かかりつけ歯科医を決めていない理由





【その他】

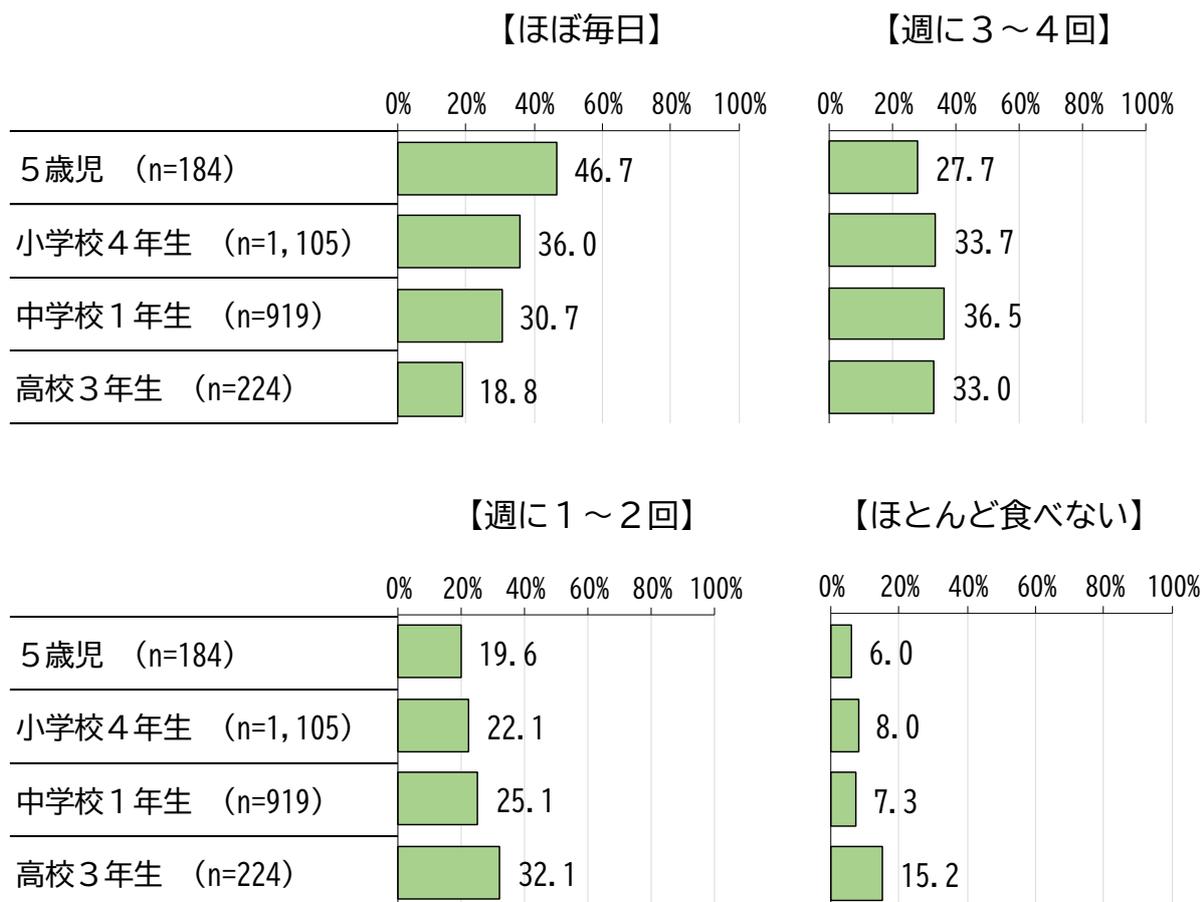


※「よくわからない」の選択肢は中学校1年生調査のみに設定

(7) あなたは、あめ・チョコレート・アイスクリームなどの甘いお菓子を、1週間のうちにどのくらい食べますか。(✓は1つ)

・甘いお菓子を食べる頻度の回答割合は、5歳児と小学校4年生で「ほぼ毎日」が、中学校1年生と高校3年生で「週に3～4回」がそれぞれ最も高くなっています。

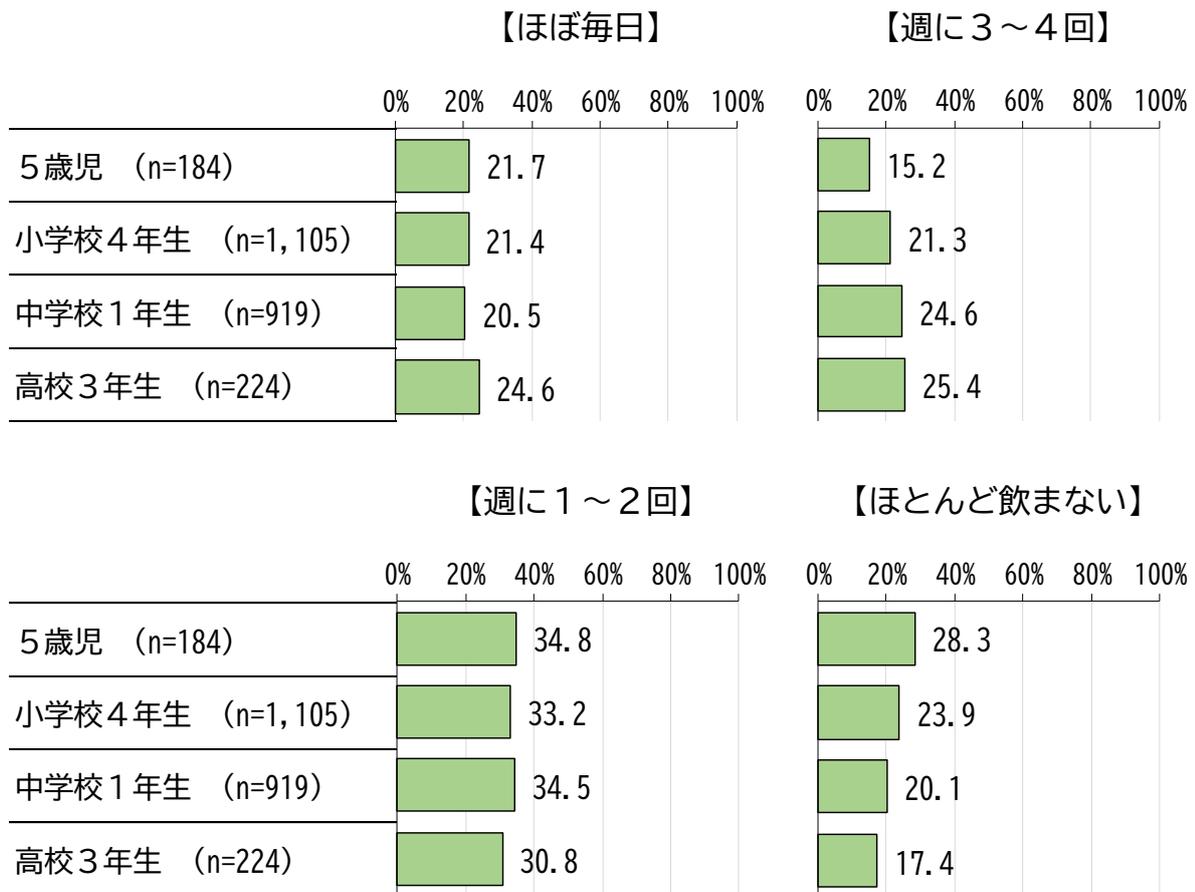
甘いお菓子を食べる頻度



(8) あなたは、ジュース・乳酸飲料・スポーツドリンクなどの甘い飲み物を、1週間のうちどのくらい飲みますか。(✓は1つ)

・甘い飲み物を飲む頻度の回答割合は、すべての世代で「週に1～2回」が最も高くなっています。次いで高い回答は、5歳児と小学校4年生では「ほとんど飲まない」が、中学校1年生と高校3年生では「週に3～4回」がそれぞれ高くなっています。

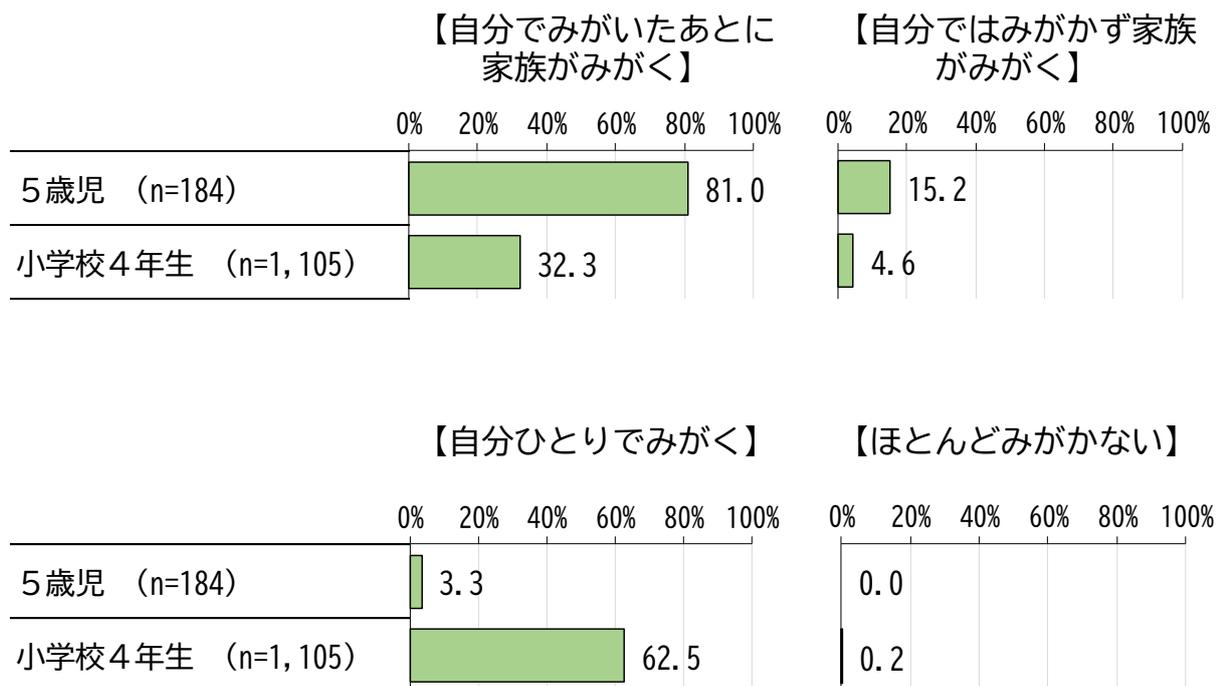
甘い飲み物を飲む頻度



(9) あなたは、歯みがきをどのようにしていますか。(✓は1つ)

・自身で歯をみがいているかの回答割合は、5歳児で「自分でみがいたあとに家族がみがく」が、小学校4年生で「自分ひとりでみがく」がそれぞれ最も高くなっています。

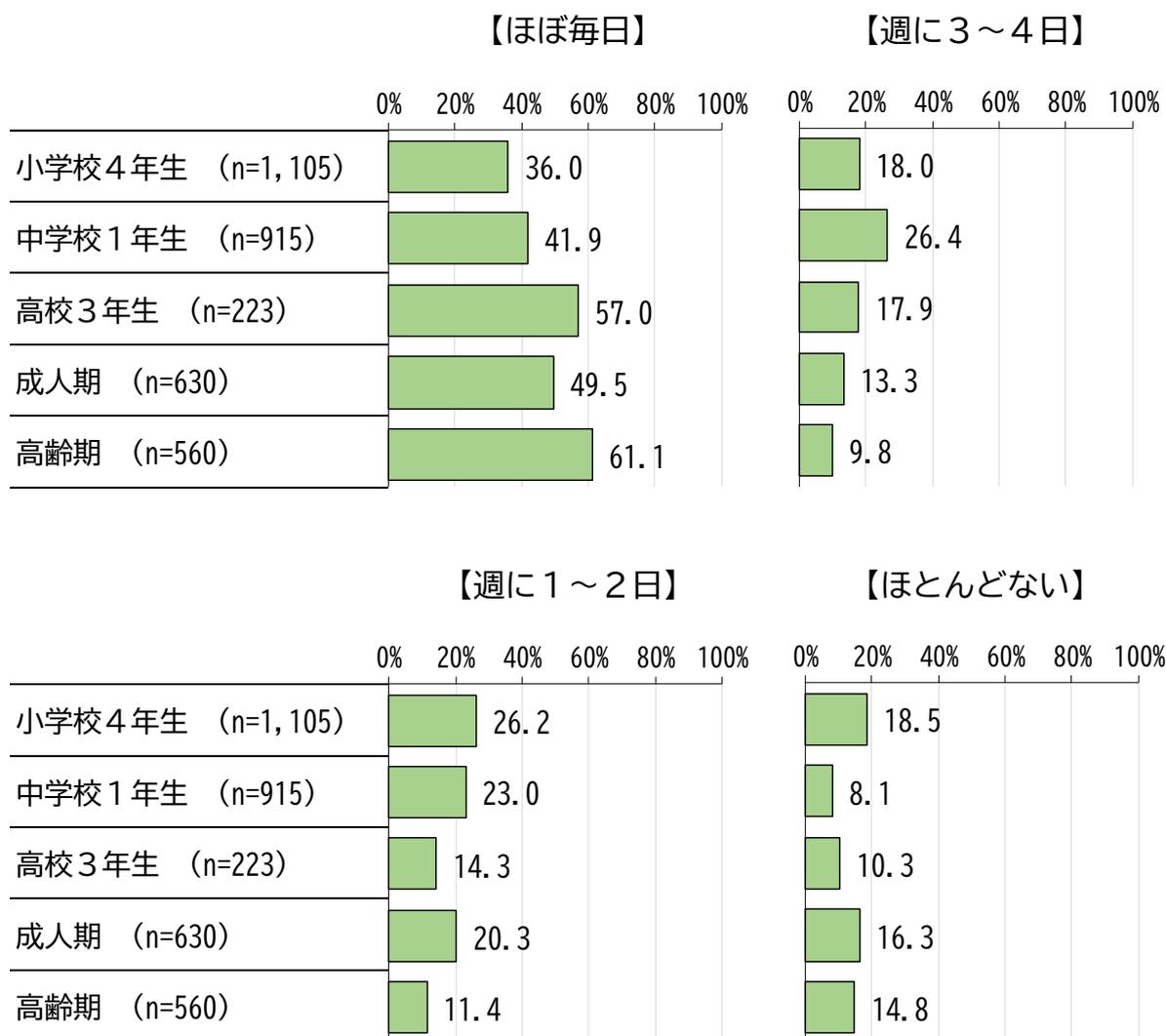
自身で歯をみがいているか



(10) あなたが、歯をみがくときに1本ずついねいに時間をかけている日は、1週間のうちどのくらいありますか。(✓は1つ)

・1週間のうちに1本ずついねいにみがく頻度の回答割合は、すべての世代で「ほぼ毎日」が最も高くなっています。次いで高い回答は、小学校4年生と成人期では「週に1～2日」が、中学校1年生と高校3年生では「週に3～4日」が、高齢期では「ほとんどない」がそれぞれ高くなっています。

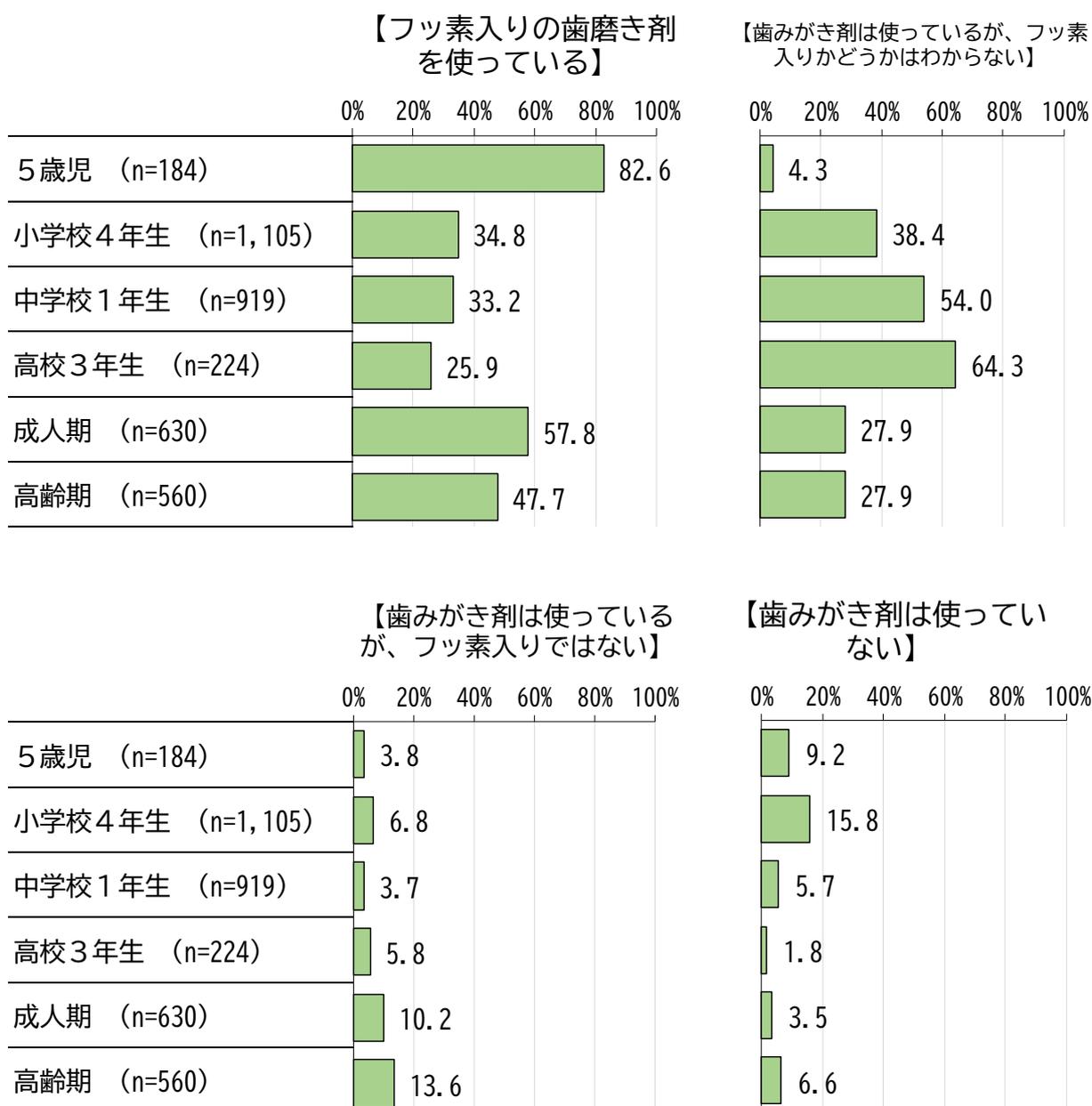
1週間のうちに1本ずつ丁寧に磨く頻度



(11) あなたは、歯をみがくときフッ素入りの歯みがき剤を使っていますか。
(✓は1つ)

・フッ素入り歯みがき剤の使用状況の回答割合は、5歳児と成人期、高齢期で「フッ素入りの歯みがき剤を使っている」が、小学校4年生と中学校1年生、高校3年生で「歯みがき剤は使っているが、フッ素入りかどうかはわからない」がそれぞれ最も高くなっています。

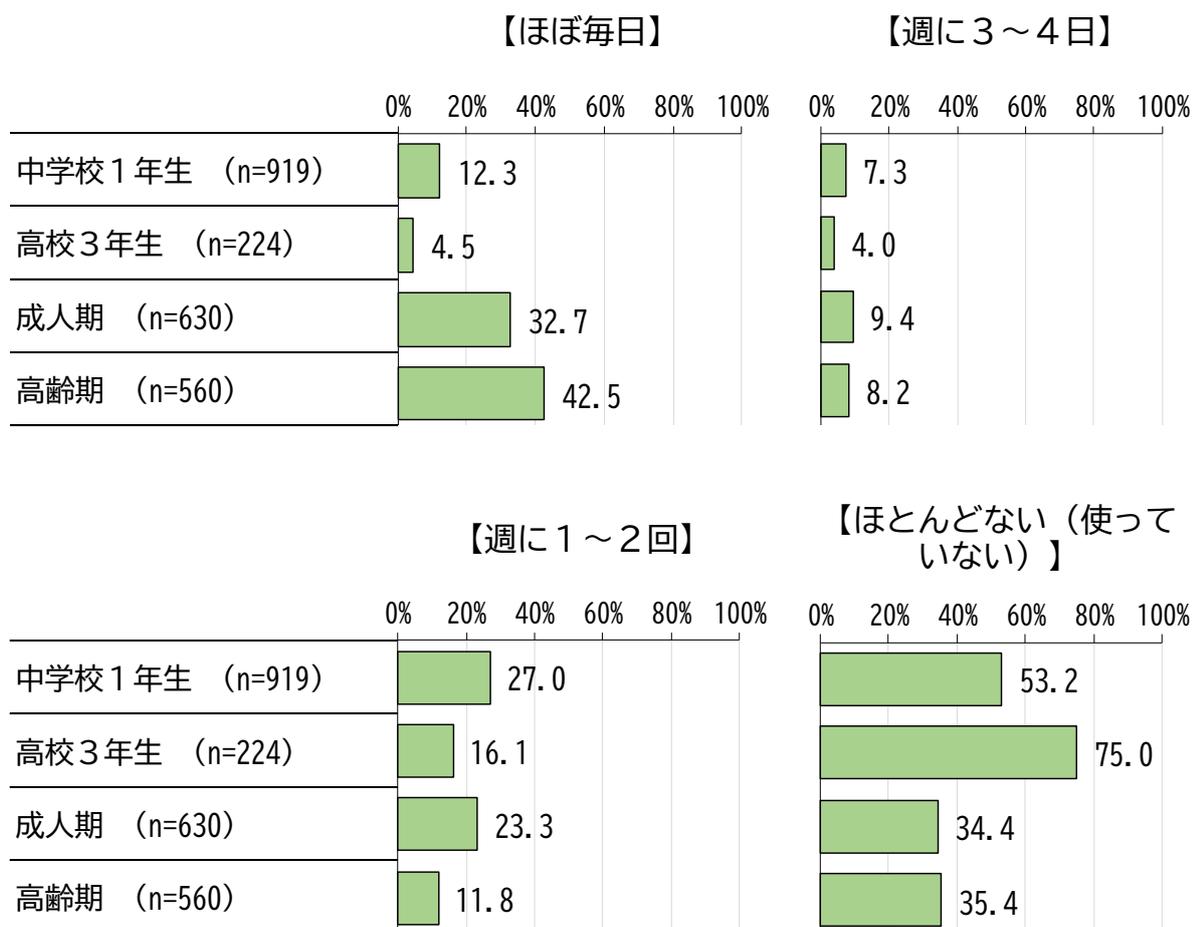
フッ素入りの歯みがき剤の使用状況



(12) あなたは、歯をみがくとき、デンタルフロス（糸ようじなど）や歯間ブラシを1週間のうちどのくらい使っていますか。（✓は1つ）

・デンタルフロス（糸ようじなど）の使用頻度の回答割合は、中学校1年生と高校3年生、成人期で「ほとんどない（使っていない）」が、高齢期で「ほぼ毎日」がそれぞれ最も高くなっています。

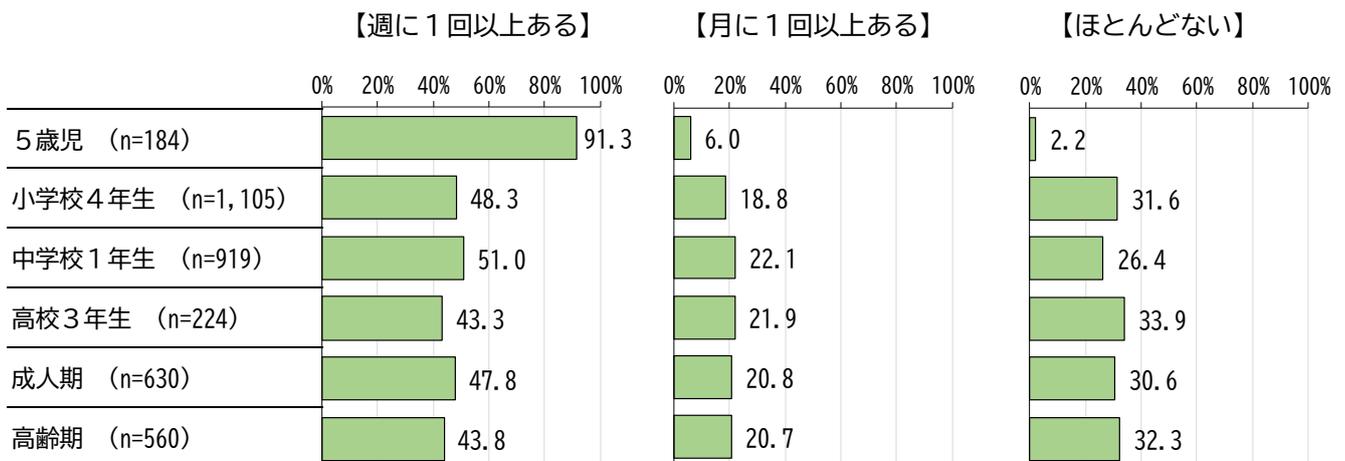
デンタルフロス（糸ようじなど）や歯間ブラシの使用頻度



(13) あなたは、鏡などを使って、自分で（お子さんの）歯や歯ぐきの様子を観察することがありますか。（✓は1つ）

・歯や歯ぐきの様子を観察することがあるかの回答割合は、すべての世代で「週に1回以上ある」が最も高くなっています。次いで高い回答は、小学校4年生と中学校1年生、高校3年生、成人期、高齢期では「ほとんどない」が、5歳児では「月に1回以上ある」がそれぞれ高くなっています。

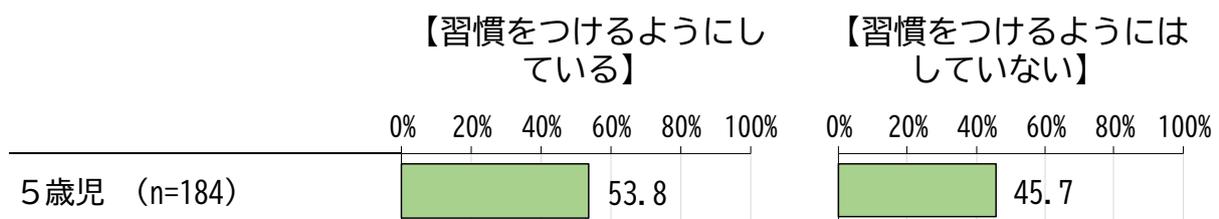
歯や歯ぐきの様子を観察することがあるか



(14) 保護者の方は、お子さんにゆっくりよく噛んで食べる習慣をつけるようにしていますか。（✓は1つ）

・よく噛んで食べる習慣をつけているかの回答割合は、「習慣をつけるようにしている」が53.8%に対し、「習慣をつけるようにはしていない」は45.7%となっています。

よく噛んで食べる習慣をつけているか

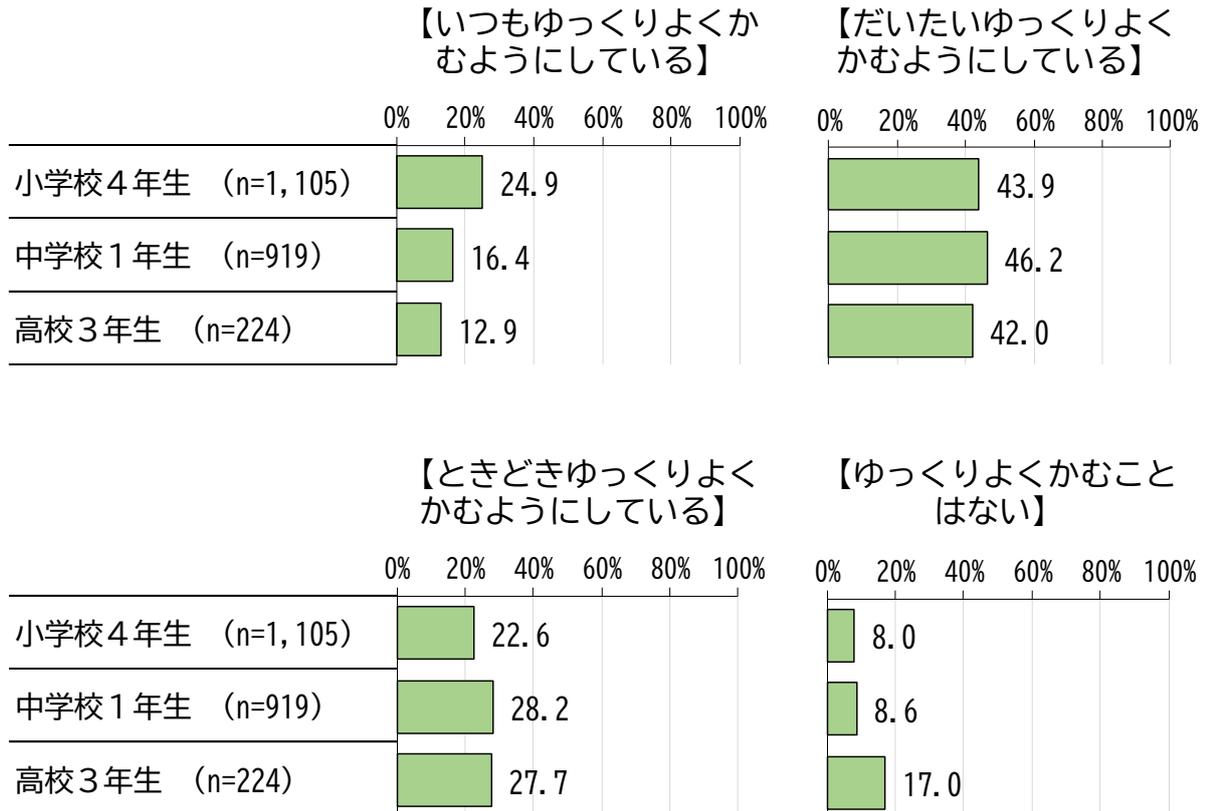


※本設問は5歳児調査のみに設定

(15) あなたは、食べるときに、ゆっくりかむようにしていますか。(✓は1つ)

・よく噛むようにしているかの回答割合は、すべての世代で「だいたいゆっくりよくかむようにしている」が最も高くなっています。次いで高い回答は、中学校1年生と高校3年生では「ときどきゆっくりよくかむようにしている」が、小学校4年生では「いつもゆっくりよくかむようにしている」がそれぞれ高くなっています。

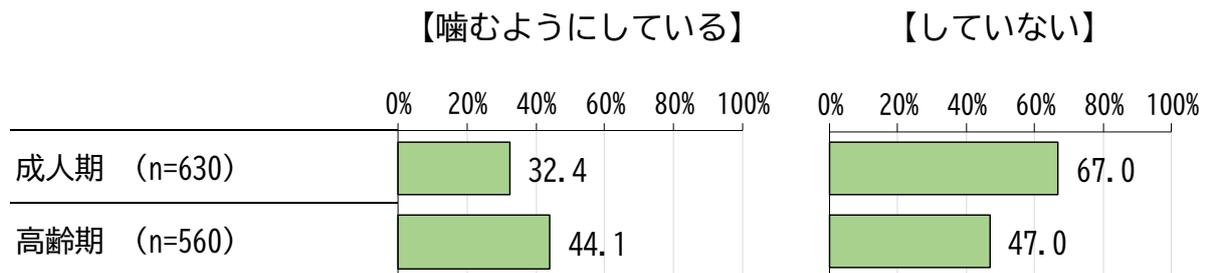
ゆっくりよく噛むようにしているか



(16) あなたは、食べるときに、よく噛む（1口30回程度）ようにしていますか。
 (✓は1つ)

・食べるときに、よく「噛むようにしている」の回答割合は、高齢期で44.1%と最も高くなっています。

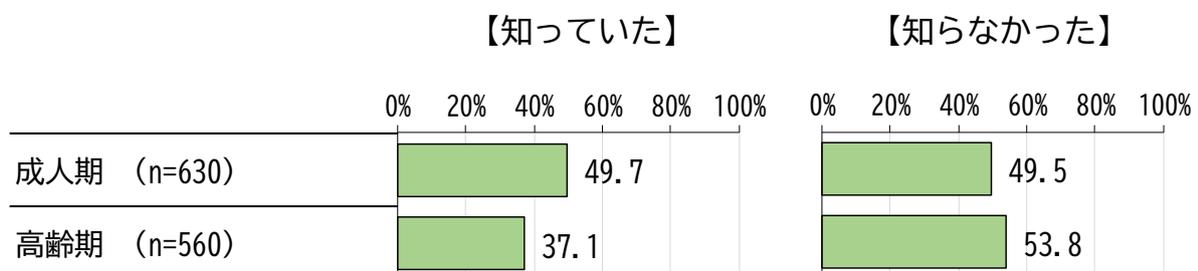
よく噛む（1口30回程度）ようにしているか



(17) 喫煙は歯ぐきの病気（歯周病）を進行させる要因の1つですが、あなたはこのことをご存じでしたか。(✓は1つ)

・喫煙は歯ぐきの病気（歯周病）を進行させる要因の1つであることを「知っていた」の回答割合は、成人期で49.7%と最も高くなっています。

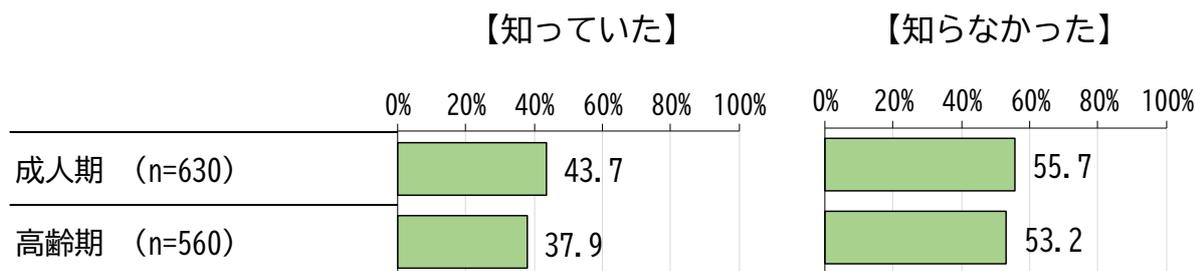
喫煙が歯周病を進行させる要因の
1つであることを知っていたか



(18) あなたは、糖尿病だと歯周病にもかかりやすく、歯周病が糖尿病に悪影響を及ぼすことをご存じでしたか。(✓は1つ)

・糖尿病だと歯周病にもかかりやすく、歯周病が糖尿病に悪影響を及ぼすことを「知っていた」の回答割合は、成人期で43.7%と最も高くなっています。

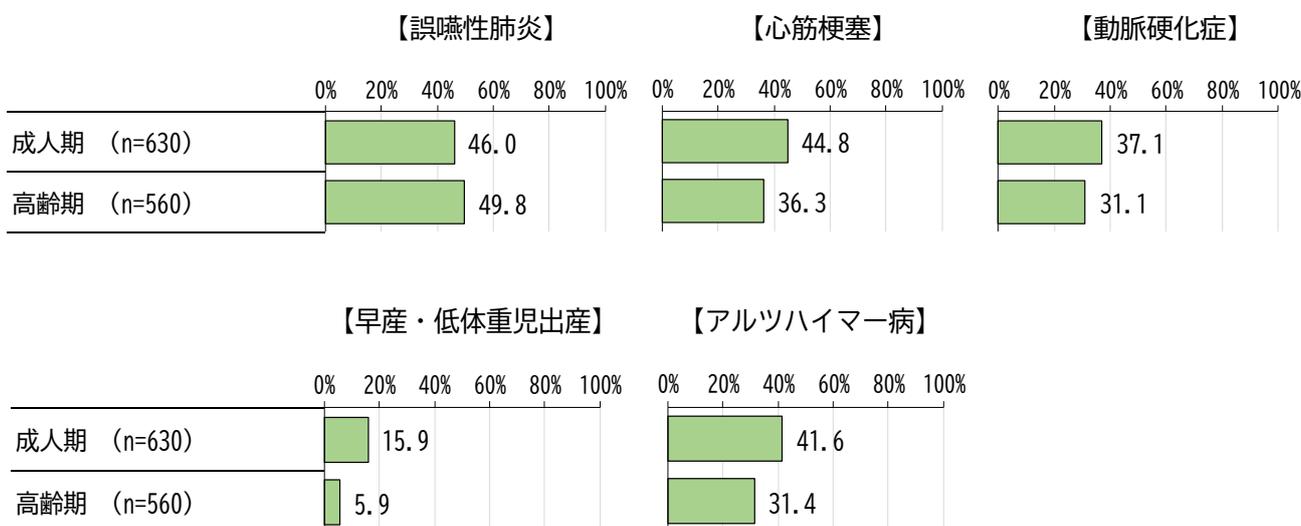
歯周病が糖尿病に悪影響を及ぼすことを知っていたか



(19) あなたが、歯周病と関係のあると思うものを選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

・歯周病と関係のあると思うものの回答割合は、成人期と高齢期で「誤嚥性肺炎」が最も高くなっています。次いで高い回答は、成人期と高齢期で「心筋梗塞」が高くなっています。

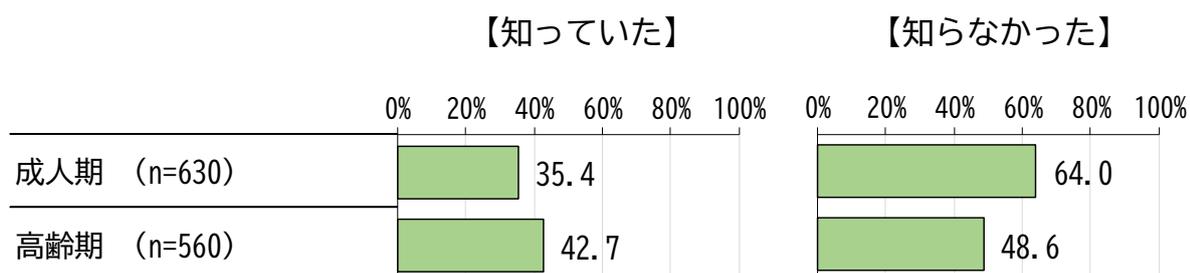
歯周病と関係のあると思うもの



(20) あなたは、歯や入れ歯、舌などを清潔にすることが誤嚥性肺炎を予防することをご存じでしたか。(✓は1つ)

・歯や入れ歯、舌などを清潔にすることが誤嚥性肺炎を予防することを「知っていた」の回答割合は、高齢期で42.7%と最も高くなっています。

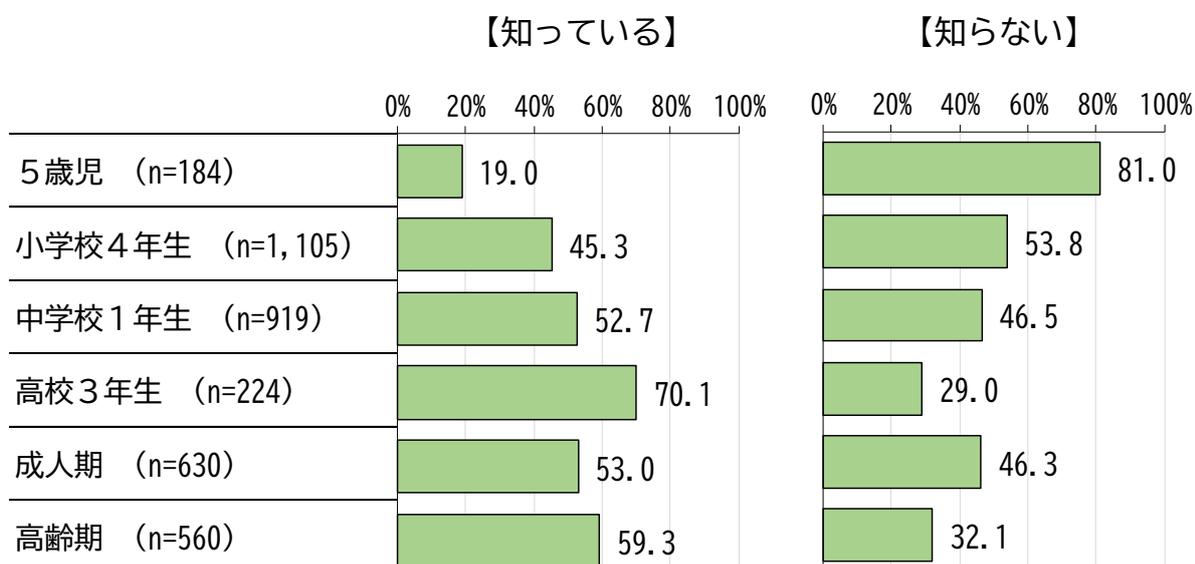
歯や入れ歯、舌などを清潔にすることが
誤嚥性肺炎の予防に繋がることを知っていたか



(21) あなたは、1口で30回かむことの大切さ(嚙ミング30)を知っていましたか。(✓は1つ)

・1口で30回かむことの大切さ(嚙ミング30)を「知っている」の回答割合は、高校3年生で70.1%と最も高く、次いで高齢期で59.3%となっています。

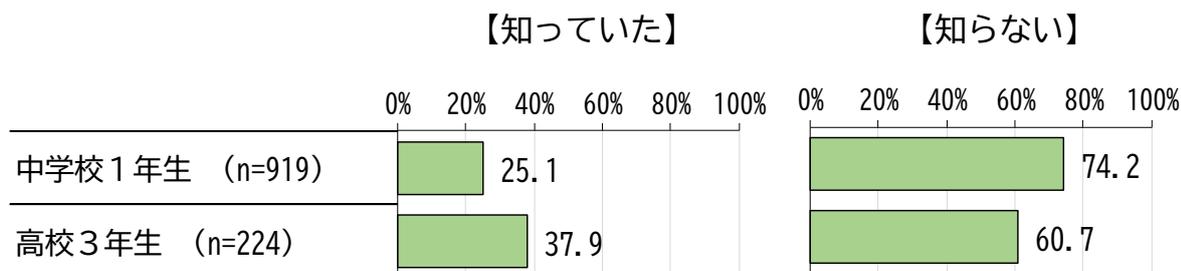
嚙ミング30の認知状況



(22) 20本以上の自分の歯があると、ほとんどの食物をかんで食べることができます。
「8020」とは、80歳になっても20本以上の自分の歯を保つ、歯の健康の目標です。あなたは「8020」を知っていますか。(✓は1つ)

・8020を「知っていた」の回答割合は、高校3年生で37.9%と最も高くなっています。

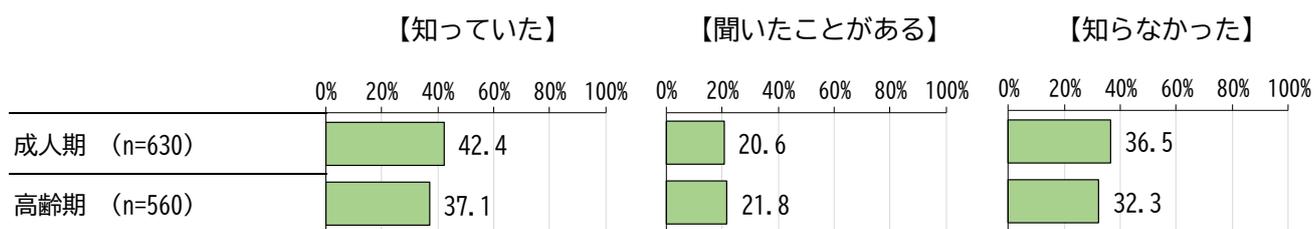
8020の認知状況



(23) あなたは「8020運動」という言葉を知っていましたか。(✓は1つ)

・8020運動という言葉を知っていたの回答割合は、成人期で42.4%と最も高くなっています。

8020運動の認知状況



(24) あなたは、オーラルフレイルという言葉を知っていましたか。(✓は1つ)

・オーラルフレイルの認知状況は、「知っていた」が23.9%に対し、「知らなかった」は67.0%となっています。

オーラルフレイルの認知状況



※本設問は高齢期調査のみに設定

(25) あなたは、歯科医院で、飲み込みにくい・食べにくいなどの相談ができることをご存じでしたか。(✓は1つ)

・歯科医院で嚥下に関する相談ができることを知っていたかの回答割合は、「知っていた」が25.4%に対し、「知らなかった」は65.7%となっています。

歯科医院で嚥下に関する相談ができることを知っていたか

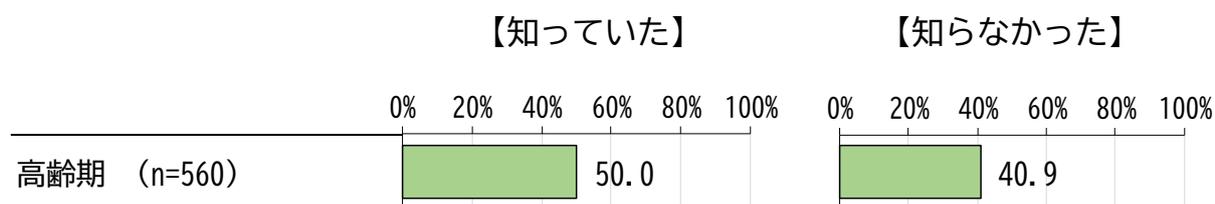


※本設問は高齢期調査のみに設定

(26) あなたは、寝たきりなどで歯科医院への通院が困難な場合に、歯科医師や歯科衛生士が訪問して、歯のケアや治療をすることができることをご存じでしたか。
(✓は1つ)

・歯科医師や歯科衛生士が訪問して、歯のケアや治療をすることができることを知っていたかの回答割合は、「知っていた」が50.0%に対し、「知らなかった」は40.9%となっています。

歯科医師や歯科衛生士が訪問して、歯のケアや治療を
することができることを知っていたか



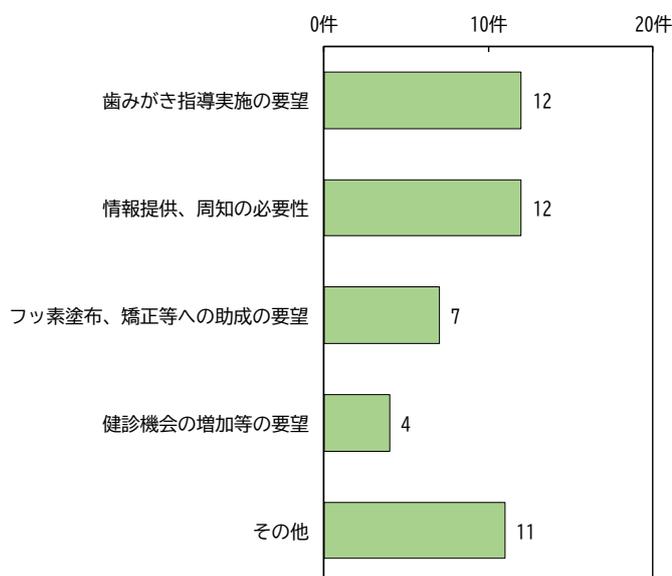
※本設問は高齢期調査のみに設定

(27) 多摩市の歯や口の健康づくりの取組について感じていることや、これから期待することがあれば教えてください。

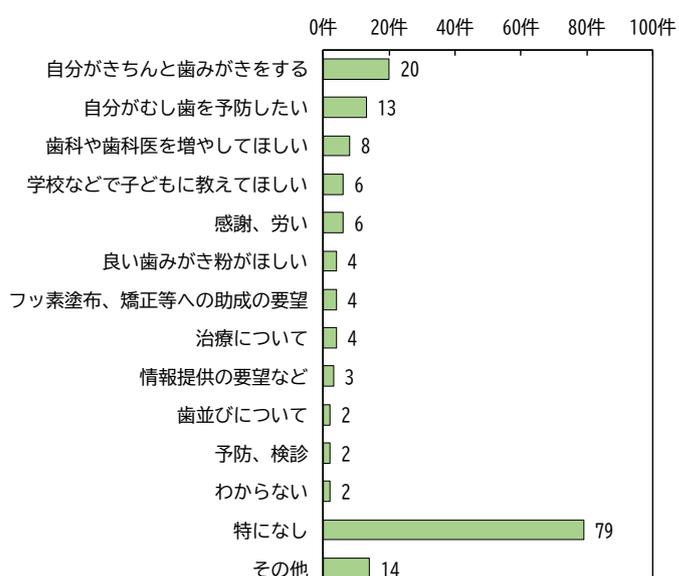
・自由記載の内容を分類し集計した結果は、下記の通りとなっています。

多摩市の取組について感じていること（主な自由記載項目）

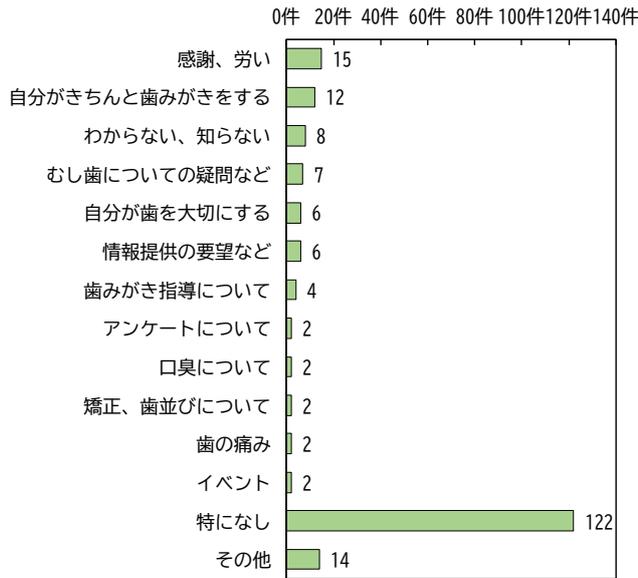
【5歳児】



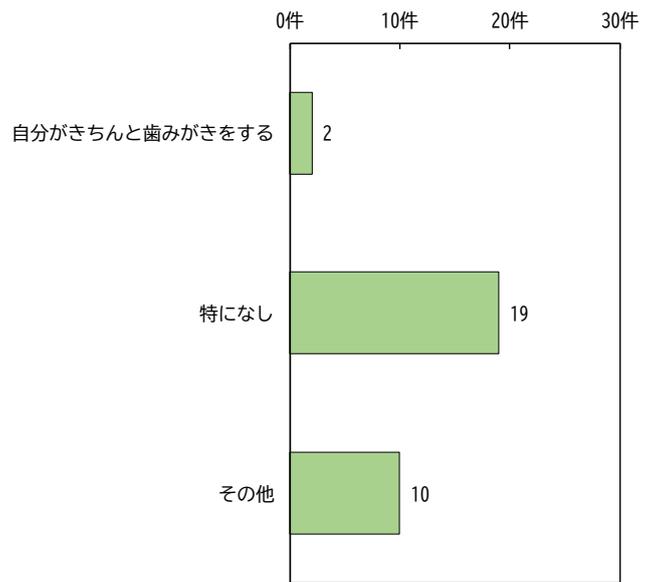
【小学校4年生】



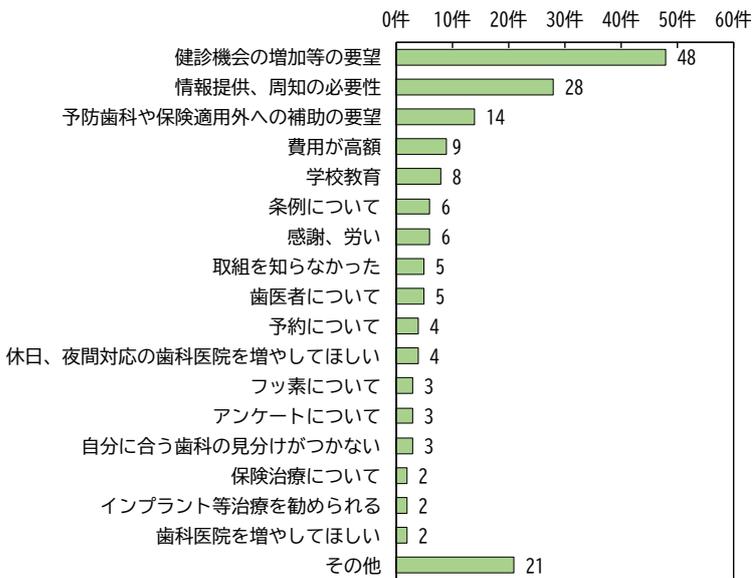
【中学校1年生】



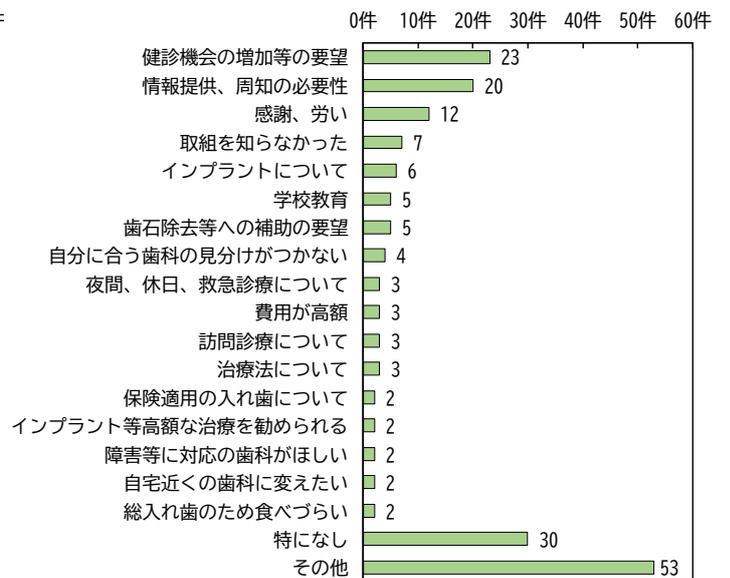
【高校3年生】



【成人期】



【高齢期】



多摩市歯科口腔保健に関するアンケート調査

— 報告書概要版 —

令和5年8月発行

発行 多摩市

〒206-0011

東京都多摩市関戸四丁目19番地5

TEL 042-376-9111 (直通)

編集 多摩市 健康福祉部 健康推進課

多摩市立健康センター